

供給ガスの標準熱量の引上げについて

弊社は国際石油開発帝石株式会社（以下INPEXと略）から原料ガスを購入し、弊社管内のお客様へ都市ガスを供給しております。今後、INPEXでは原料ガスに占めるLNG（液化天然ガス）の割合が増加することから、本年10月12日に供給ガスの熱量を43メガジュール（10,300キロカロリー）から45メガジュール（10,750キロカロリー）に変更いたします。これに伴い、弊社の供給ガス熱量も同様に変更いたします。今回の熱量引上げにより供給能力が向上するとともに、緊急時における他ガス事業者（東京ガス、静岡ガス）からの受入ガス熱量の違いが解消され、相互融通が可能となります。

ガスの種類は同じ13Aですので、ご家庭でご使用のガス機器はそのままご使用できます。これに伴うガス料金の値上げはありません。

45メガジュール化
後の国際石油開発
帝石パイプライン図

熱量の変更に伴い、
器具やメーターの変
更工事や、供給停止
の処置はありません。



東京ガス、静岡ガスと
同じ45メガジュールの
ガスになるため、緊急
時にガスを融通して使
用できるようになります。

お知らせ



「供給ガスの標準熱量引上げについて」

Q & A

Q1 なぜ熱量を引き上げるの？

A1 供給元の帝国石油開発株式会社（以下INPEXと略）が原料となるガスに占めるLNG（液化天然ガス）の割合を増加させるためです。

Q2 熱量引上げでどんなメリットがあるの？

A2 供給能力が向上するとともに、パイプラインが接続されている他のガス会社（東京ガス、静岡ガス）と同じ熱量のガスになるため、災害などの緊急時に相互融通が可能になります。今まで以上に安定したガスの供給を行えるようになります。

— 供給ガスの熱量が変わります —

10月12日（水）入間ガスからお客様宅へ供給している都市ガスの熱量が変更になります。
【43メガジュール（10,300キロカロリー）⇒45メガジュール（10,750キロカロリー）】

Q3 ガス器具はそのまま使えるの？

A3 都市ガスの種類（13A）に変更はないため、家庭用のお客様がお使いのガス機器はこれまでどおりご使用いただけます。したがって、今回の熱量引上げに伴う「お客様宅へ訪問」「在宅のお願い」「ガスの一時供給停止」などはございません。

Q4 ガスの火力は、変わらないの？

A4 熱量が上がったことで、火力はやや強くなりますが、ご使用にあたってはほとんどお気づきにならない程度です。

Q5 ガス料金は、どうなるの？

A5 熱量が上がった分、1㎡当たりの単価は高くなります。しかし、熱量が上がった分ガスの使用量が減るため、お客様がお支払いになるガス料金は、これまでと変わらない計算になります。

45メガジュール化後の国際石油開発帝石パイプライン図

